

9 消防費 1 消防費 1 常備消防費

① 組合消防費（防災安全課）

消防広域化による体制の強化充実のため、乙訓消防組合の運営経費について分担金を支出して応分の負担を行った。

9 消防費 1 消防費 2 非常備消防費

① 消防団活動費（防災安全課）

消防団は、郷土愛護の精神に基づき、あらゆる災害に対処するため、消防団長以下全消防団員が一致団結し、向日市及び乙訓消防組合向日消防署とともに協調を図りつつ、日夜防火防災活動に、また、各種訓練に鋭意努力し、市民生活の安心と安全確保に努めている。

1 組 織



物集女、寺戸、森本、鶏冠井、上植野及び向日の各町に分団を置き、各分団は、分団長1人、副分団長1人及び班長3人の幹部並びに20数人の団員により編成され、それぞれ消防ポンプ自動車1台、可搬式小型動力ポンプ1台を配置している。

2 定員と現在員

条例定員 150人 現在員 150人

3 年報酬と費用弁償

年 報 酬 (単位：円)	
区 分	金 額
団 長	214,000 円
副 団 長	170,000 円
分 団 長	100,000 円
副 分 団 長	74,000 円
班 長	60,000 円
団 員	52,000 円

費 用 弁 償 (単位：円)	
区 分	金 額
災 害 出 動	3,000 円
警 戒 出 動	2,000 円
訓 練 出 動	2,500 円
賄 費	1,000 円

4 表 彰

(1) 京都府知事表彰	永年勤続功労章	1 人
	精励章	2 人
(2) 日本消防協会会長表彰	精績章	1 人
(3) 京都府消防協会会長表彰	精績章	1 人
	精勤章	2 人

5 研 修

京都府立消防学校へ団員を派遣し、次の教育を受講した。

消防団員幹部教育初級幹部科（第5期・南部）（1日）2人

消防団員専科教育警防科（第22期）（1日）2人

6 訓練・教育

(1) 訓練

ア 幹部団員及び初級団員訓練

平成25年4月7日（日）に、向日消防署において幹部団員及び初級団員訓練を実施し、幹部団員及び新入団員等に対して消防団活動に必要な規範訓練等を行った。

イ 向日市消防団消防訓練錬成会に伴う訓練

向日市消防団消防訓練錬成会に向けての訓練を48回実施した。

ウ 二市一町総合消防訓練（署・団合同訓練）

平成26年3月2日（日）に、ダイハツ工業株式会社京都工場において、乙訓二市一町総合消防訓練が実施され、正副団長及び第2分団5人の計8人が参加し、消防署と消防団の連携を強めた。

(2) 団員教養

平成25年7月7日（日）に、向日消防署において消防団員30人を対象とした普通救命講習を実施した。

7 装備の点検整備等

(1) 消防自動車の法定点検状況（単位：台）

整備項目	台数
定期車検整備台数	3
定期点検整備台数	3

(2) 機械器具の点検整備

各分団に配備している機械器具について、随時点検整備を実施した。

各分団配備の機械器具（単位：個）

機械器具		個数
小型動力ポンプ		6
救助器具	バール	36
	スコップ	36
	鋸	36
	ハンマー	36
	ツルハシ	36
	掛矢	36

② 防火活動費（防災安全課）

消防行政に関する市民の声を的確に把握し、家庭における火災予防の普及徹底と防火思想の向上を図り、安全な地域づくりを目指すため、向日市女性防火推進員を置き、防火教室や救急講習を行い各種防火広報に努めた。

第11期女性防火推進員 30 人

9 消防費 1 消防費 3 消防施設費

① 消防施設整備費（防災安全課）

1 消防水利の整備状況

消防水利を常に良好な状態に保つために、乙訓消防組合向日消防署員による点検パトロールや水利標識等の交換を実施している。

2 消防水利の状況（平成26年3月31日現在）

(1) 消火栓の状況

（単位：個）

町 別 区 分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
基 準	55	159	32	25	49	14	334
基 準 外	21	47	26	53	72	5	224
計	76	206	58	78	121	19	558

(2) 防火水槽の状況

（単位：基）

町 別 区 分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
基 準（有蓋） 40m ³ 以上	21	61	14	15	30	3	144
基準外（有蓋） 40m ³ 未満	2	4	1	3	0	0	10
計	23	65	15	18	30	3	154

(3) その他の水利の状況

（単位：箇所）

町 別 区 分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
プ ール	2	4	1	0	1	1	9
池	4	5	0	0	0	1	10
そ の 他	1	1	0	0	1	1	4
計	7	10	1	0	2	3	23

9 消防費 1 消防費 4 災害対策費

② 災害対策事業費（防災安全課）

1 災害避難拠点・防災資機材等整備（平成25年度主要事業）

地震などによる被災時に避難所生活や市民生活を守るため、災害対策拠点を整備し防災資機材等を備蓄するとともに、避難場所の確保を行った。

(1) 北部災害避難拠点

防災用資機材や保存飲食料、生活必需品等を備蓄するための災害避難拠点を整備した。

施設概要	
名称	北部災害避難拠点
場所	寺戸町寺田
敷地面積	600m ²
建築面積	150m ²
構造	鉄骨 耐震・耐火構造／平屋
備蓄物資	食料、生活必需品、資機材

(2) マンホールトイレ

災害時の避難所における公衆衛生の向上を図るため、マンホールトイレを設置した。

設置場所	設置個数
市民ふれあい広場（森本町小柳）	8基

(3) 防災資機材

災害時に必要な食料や生活必需品及び災害応急対策に必要な資機材を計画的に備蓄するため、向日市備蓄計画により、災害用備蓄物資及び防災用資機材の整備に努めた。

（南海トラフ地震における必要備蓄数を整備）

2 地域防災計画の見直し（平成25年度主要事業）

改正された国や京都府の防災計画に準じ、新たに設定された特別警報や原子力対策について、本市の実情に合った防災計画とするため、計画の見直しを行った。

3 防災気象情報収集体制の強化（平成25年度主要事業）

気象庁や京都府防災システムに加え、民間の気象情報提供会社のサービスを活用することで、災害情報収集体制の強化を図った。

4 防災パトロールの実施

梅雨期を迎えるにあたり、災害時に危険が予想される箇所の実態を把握するため、関係機関と合同でパトロールを行った。

(1) 実施日 平成25年5月23日（木） 午前9時30分～11時30分

(2) 点検箇所 道路防災倉庫、向日町南山急傾斜地、北部災害避難拠点、南部災害避難拠点

(3) 出席者 市長以下32人

5 防災会議の開催

(1) 開催日 第1回 平成25年8月23日（金） 午前10時～午前11時 市役所 大会議室
第2回 平成26年3月26日（水） 午後3時～午後4時 向日消防署 講堂

(2) 審議内容

第1回

ア 向日市防災会議条例及び向日市災害対策本部条例の改正について

イ 平成24年度 防災関連事業報告について

ウ 平成25年度 防災関連事業計画（案）について

エ 平成25年度 向日市総合防災訓練実施計画（案）について

第2回

ア 平成25年度 防災関連事業報告について

イ 平成26年度 防災関連事業計画案について

ウ 平成25年度 向日市地域防災計画の修正について

6 防災対策

- (1) 自主防災組織の育成に努めた。 139組織
- (2) 災害時要配慮者避難支援対策事業として、対象者に登録の案内を行うとともに、要配慮者名簿を作成した。
- (3) 災害時に要配慮者の安全と避難生活を確保するため、市内2法人与福祉避難所の設置運営に関する協定を結んだ。
(福) 向陽福祉会 特別養護老人ホーム 向陽苑
(福) 向日春秋会 特別養護老人ホーム サンフラワーガーデン
- (4) 閉庁時において、市内に大雨、洪水等の警報が発令された場合や大規模な災害が発生した場合に、応急的初動対応を行う職員を初動体制班として指定し、緊急時の体制強化を図った。

5 市民等啓発対策

- (1) 「防災とボランティア週間」の取組として、市役所ロビーにおいて阪神淡路大震災・東日本大震災の写真パネルや京都西南部活断層地図、淀川浸水想定地図、防災グッズ、備蓄物資等の展示（防災パネル展）を行った。
また、防災マップ等の配布を行い、市民への啓発を行った。
- (2) 「広報むこう」等を活用し、市民への防災意識の高揚に努めた。
- (3) 防災教育として、「チャレンジ！防災48」などを活用した出前講座、新規採用職員研修を行った。
- (4) ホームヘルパーを対象とした防災出前講座を行い、訪問時の災害対応について講義を行った。
- (5) 向日市まつりにおいて、防災コーナーを設置し、啓発を行った。

6 向日市防災訓練

防災対策を総合的かつ効果的に推進し、市民の防災意識の高揚及び防災関係機関相互の連携を図るため、地域の自主防災組織、防災関係機関等の参加協力のもとに総合防災訓練を実施し、市民参加型の体験訓練などを含めた内容で実施した。

- | | | | |
|----------|--|-----------------|----------------------|
| (1) 日 | 時 | 平成25年9月21日（土・祝） | 午前9時～午前11時55分まで |
| (2) 場 | 所 | 主会場訓練 | 向日市立第4向陽小学校グラウンド |
| | | 広報・展示訓練 | 向日市立第4向陽小学校グラウンド・体育館 |
| (3) 主 | 催 | 向日市防災会議 | |
| (4) 参加団体 | 乙訓消防組合消防本部、向日消防署、向日市消防団、寺戸町連合自治会、周辺自治会・町内会、京都府向日町警察署、陸上自衛隊福知山駐屯地第7普通科連隊、陸上自衛隊桂駐屯地中部方面後方支援隊、(社)乙訓医師会、向日市社会福祉協議会、向日市民生児童委員連絡協議会、向日市商工会、向日市指定上下水道協同組合、向日市水道メンテナンス(株)、(株)京都衛生開発公社、京都府乙訓土木事務所、西日本電信電話(株)京都支店、大阪ガス(株)京滋導管部、関西電力(株)京都営業所、向日市立第4向陽小学校、向日市立第5保育所、向日市女性防火推進員、寺戸町自主防災会、森本区自治防災会、森本地区浸水排除対策協議会、向日区自主防災会、西向日自主防災会、向日市ろうあ協会、向日市難聴者協会、(財)移動無線センター、樋口鉱泉(株)ほか | | |

(5) 内 容

ア 主会場訓練・・・向日市立第4向陽小学校グラウンド・体育館

- ・現地対策本部設置運用訓練
- ・現地災害対策本部長到着訓練
- ・避難所開設訓練
- ・救出救助訓練
- ・救護所開設訓練
- ・被害状況調査報告訓練
- ・住民避難誘導訓練
- ・災害時要配慮者安否確認訓練
- ・初期消火訓練
- ・応急給水訓練
- ・炊き出し・配給訓練
- ・仮設トイレ設置訓練

イ 広報・展示訓練・・・向日市立第4向陽小学校グラウンド・体育館

- ・起震車による体験コーナー
- ・煙体験コーナー
- ・パネル展示コーナー
- ・避難所体験コーナー
- ・木造建築耐震診断申込コーナー
- ・非常食試食コーナー
- ・飲料水製造実演コーナー
- ・配電盤被害調査及び広報活動訓練
- ・ガス啓発コーナー
- ・特殊公衆電話設置訓練
- ・陸上自衛隊救助物資機材等展示コーナー
- ・向日町警察署災害用資機材展示コーナー
- ・東日本大震災支援報告コーナー
- ・木造住宅倒壊模型コーナー

(6) 参加者 1,500人

7 災害記録

大雨洪水警報等により、災害警戒本部を設置し、防災体制に万全を期した。

警戒種別	設 置 日	設 置 時 間	警報解除時間	閉 鎖 時 間	動員数	備 考
警戒本部	7月13日(土)	午後4時6分	午後6時38分	午後6時38分	9人	大雨・洪水警報
警戒本部	7月14日(日)	午後2時24分	午後5時28分	午後5時28分	6人	大雨・洪水警報
警戒本部	9月2日(月)	午後2時54分	午後5時55分	午後5時55分	9人	大雨(土砂災害、浸水害)・洪水警報
警戒本部	9月4日(水)	午後2時23分	午後6時38分	午後6時38分	9人	大雨(土砂災害、浸水害)・洪水警報
対策本部	9月15日(日)～ 16日(月)	午後9時51分	午後6時21分	午後6時21分	83人	大雨特別警報
警戒本部	10月25日(金)	午前10時13分	午後4時17分	午後4時17分	11人	大雨警報

8 自主防災組織活動助成

自主防火防災用器具設置事業

自主防災組織の育成強化を図るため、自主防火防災用器具設置事業補助規則に基づき、防火防災用器具を設置する町内会等の自主防火防災組織に対して事業費の2分の1の補助金を交付した。

(1) 防災用器具設置町内数 4組織

保存食、資機材、水バケツ、防災倉庫

(2) 消火器具設置補助町内会数 33組織

ア 粉末消火器 170本

イ 格納箱 53個

(3) 消火器詰替補助町内会数 11組織

粉末消火器 89本

泡消火器 6本

9 国民保護対策事業

(1) 7市2町危機管理事務連絡会議（八幡市役所） 3月

(2) 国民保護セミナー（京都府職員福利厚生センター） 2月

10 その他

水害に強い地域づくり協議会 7月、9月、1月、2月、3月